

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給申請書

フリガナ	
①氏名	
②生年月日	昭和・平成 年 月 日 満()歳
③住所	
④電話番号	

⑤次の1から4のいずれかの場合であること (1.~4.のいずれか該当する数字を○で囲んだうえ、該当する欄に記載)
 ※記載内容については、社会福祉協議会に照会させていただくことがあります。

1. 総合支援資金の再貸付を受け終わった

受けていた時期	令和3年 月 ~ 月
再貸付を受けていた社会福祉協議会	

2. 総合支援資金の再貸付が借入最終月である

受けている時期	令和3年 月 ~ 月
再貸付を受けている社会福祉協議会	

3. 総合支援資金の再貸付を申請したが、不承認となった

申請した時期	令和3年 月 日 (頃)
再貸付を申請した社会福祉協議会	

4. 総合支援資金の再貸付の申請のために必要な、自立相談支援機関による支援決定を受けることができず、再貸付の申請をできなかった

相談した時期	令和3年 月 日 (頃)
再貸付を相談した自立相談支援機関等	

5. 緊急小口資金及び総合支援資金の初回貸付のいずれも受け終わった (上記1~4の場合を除く)

受けていた時期 (※)	緊急小口 : 令和 年 月 ~ 月 総合支援 (初回) : 令和 年 月 ~ 月
緊急小口資金を受けていた社会福祉協議会	
総合支援資金 (初回) を受けていた社会福祉協議会	

6. 緊急小口資金及び総合支援資金の初回貸付のいずれも受けており、借入最終月 (緊急小口資金の場合、借入日が属する月) である (上記1~4の場合を除く)

受けていた時期 (※)	緊急小口 : 令和 年 月 ~ 月 総合支援 (初回) : 令和 年 月 ~ 月
緊急小口資金を受けていた (いる) 社会福祉協議会	
総合支援資金 (初回) を受けていた (いる) 社会福祉協議会	

申立事項

※総合支援資金 (初回) について、延長により3ヶ月を超えて受けていた場合、その終期を記載。

- ⑥世帯の生計を主として維持している者であること (右欄にチェック)
- ⑦申請者及び申請者同一の世帯に属する者の収入及び預貯金が次のとおりであること

フリガナ						
氏名						合計
続柄	本人					
生年月日						
収入 (月額)	円	円	円	円	円	
預貯金等	円	円	円	円	円	

※申請日の属する月の収入 (月額) が確実に推計できる場合はその額を、変動あるときは収入の確定している直近3か月間の平均収入を記載する。雇用保険の失業等給付、児童扶養手当等各種手当も合算する。

- ⑧生活保護を申請中である (右欄にチェック)

⑨公共職業安定所の求職番号 または
 地方公共団体が設ける公的な無料職業紹介の窓口の名称及び申込み日時
 (生活保護を申請中である場合を除く)

上記の申立事項に相違なく、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給を申請します。

令和 年 月 日

大阪府 子ども家庭センター所長 様

申請者氏名

【受取口座記入欄】 (長期間入出金のない口座を記入しないでください。)

金融機関名	支店名	分類	口座番号 (右詰めでお書きください)	口座名義 (カナ)
1.銀行 4.信連 2.金庫 5.農協 3.信組 6.漁協 7.信漁連	本・支店 本・支所 出張所	1.普通 2.当座		
金融機関コード	支店コード			

※ゆうちょ銀行の場合

金融機関コード9900です。「支店名」には、通帳の表紙の裏側 (見開いた部分) に記載の店名 (例: 二八九) を、「支店コード」は店名を数字で記載します。(上記の例の場合: 289)
 「分類」には預金種目を次のとおり読み替えます。“通常貯金”⇒「普通」、「一般振替口座」⇒「当座」
 「口座番号」は通帳番号の 最後尾番号 『1』 を除いた番号7桁を記載してください。
 通帳番号が7桁未満の場合は、前に『0』の数字を記入し、計7桁として記載してください。

(注 意 事 項)

申請内容は正しく記載してください。偽りその他不正の行為によって新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を受けたり、又は受けようとしたときは、不当利得として返還請求されることとなります。また、不正の内容が悪質な場合には、刑事告発を行うことがあります。